

【 臨床研究に関する情報の公開 】

糖尿病教育入院でインスリン・GLP 1 受容体作動薬注射治療を当院で受けられた患者さまの
試料・情報を用いた 医学系研究に対するご協力のお願について

項 目	内 容
1. 研究課題名	糖尿病教育入院におけるインスリン・GLP 1 受容体作動薬注射使用患者の皮下硬結の発生状況の調査
2. 研究の対象者	2020年4月1日から2022年10月31日の間に、当院15階病棟において糖尿病教育入院でインスリン・GLP 1 受容体作動薬の注射治療を受けられた患者さま
3. 研究期間	2022年12月 16日 ～ 2025年3月31日
4. 研究実施体制と研究責任者	研究実施箇所：関西電力病院 15階病棟 研究責任看護師：15階病棟 面谷智子
5. 本研究の意義・目的	インスリン注射による皮下硬結は血糖管理を妨げる重要な一因であり実際に皮下硬結部位を避けて注射することで血糖値が改善するケースもあります。皮下硬結の発生状況の調査を行う事で皮下硬結予防の為の介入方法を検討します。
6. 研究の方法	2020年4月1日から2022年12月31日の間に、当院15階病棟において糖尿病教育入院でインスリン・GLP 1 受容体作動薬の注射治療を受けられた方のカルテの記録より情報を収集致します。
7. 研究に用いる試料・情報の種類	年齢・性別・BMI・糖尿病の病型・インスリン・GLP 1 受容体作動薬注射治療内容・インスリン・GLP 1 受容体作動薬注射治療期間・インスリン・GLP 1 受容体作動薬注射部位の皮下硬結の有無などインスリン・GLP 1 受容体作動薬注射治療に関連する情報
8. 試料・情報の保管方法と廃棄方法	情報管理担当者が研究用パソコン内にデータとして保管し、施錠可能なデスクにおいて保管管理します。 廃棄については、研究発表後、5年間保管し、データ廃棄の際は、複数名で完全にデータを消去したことを確認します。
9. 個人情報の保護について	情報収集には、診療IDや患者識別コード等を用いることで匿名化されています。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者へ知られたりすることはありません。研究にご自身の臨床データや試料を提供したくない場合は、11. 問い合わせ・苦情等の窓口へお申し出ください。お申し出いただいても、診療等に不利益が生じることはありません。
10. 情報管理責任者	関西電力病院 15階病棟 面谷智子
11. 問い合わせ・苦情等の窓口	〒553-0003 大阪市福島区福島2丁目1番7号 関西電力病院 15階病棟 面谷智子 電話：06-6458-5821（代表）